

山行番 NO. 1665 (番外)  
日時 2015. 12. 13 (日) 小雨  
山域 御殿場線ウオーキング (御殿場線=谷峨駅~富士岡駅)

コース・タイム 下土狩駅発6:08-谷峨駅発7:00-谷ヶ(という集落)-引き返す-東名トンネル8:01-御殿場線路8:10-諸淵の工場8:50-透間(すきま)吊橋9:32-神奈川・静岡県境9:37-駿河小山駅「町の駅」10:15-足柄駅11:26-宝鏡寺11:32~12:30-御殿場駅付近13:30-南御殿場駅15:03-富士岡駅15:36-沼津

標高差 上り=谷峨駅約180m~御殿場駅約459m=約279m  
下り=御殿場駅約459m~富士岡駅約350m=約109m

参加者 後藤、勝又陽、浜道、小松、勝又薫、室伏=6名

## 久しぶりに30Km以上のウオーク

当日は2015年、忘年山行で矢倉岳だった。しかし、朝から小雨が降っていた。ただ、雨だから何もしないという訳ではなかった。副案があった。雨なら雨なりのメニューで野外活動を楽しむ・・・である。

とはいえ、無理強いは出来ない。どうしても「**雨がイヤ・キライ**」な会員はいる。従って「自由参加」にした。結果、「**元気者・物好き・暇人・変人・奇人??!!**」が6名集まった。取りあえず、御殿場線始発で谷峨駅に降りた。ひょっとしたら雨なしと思ったが、谷峨駅でも同じだった。驚いたのは、何処に上るか不明だが、若い衆が2名降りた。

結局、その日は「**御殿場線ウオーキング**」という、訳の分からない、意味不明なネーミングのウオーキングを敢行。皆も一応は付いて来てくれるようだ。まずは、谷峨から御殿場に向かうが、R246を歩いても面白くない。いつも車往来だが、知らない所を歩きたいが人情。谷峨駅西の東名沿いの道を目指す。

ここの地名が変わっていた。「**谷ヶ(やが??)**」。これは国土地理院の2万5千図に記載されているから、あながちガセ記載ではないだろう。昔は、こんな表記だったかも。急こう配の茶畑道を上る。下方は東名がゴーゴー。凄惨な柚子の木があった。農道が終わるとゲートがあった。鍵は掛かっている。

通行止めと書いてないので進入。段々、怪しげな道になった。最後は、とうとう藪漕ぎになった。見上げれば東名の法面遥か上部に階段があった。行けば行けるが、流石にヤメタ。戻る。だが、東名を潜るトンネルを発見。東名北側の畑に行く道のような。

しかし、畑の先は、御殿場線と鮎沢川で進めない。戻るのはイヤ。強引に御殿場線脇に降り、ヒヤヒヤで線路を歩き、何とか近くの工場敷地に出て鮎沢川を渡った。この間、約2.35Kmだが、約1時間掛かった。

線路で転倒し脚に打撲を負った会員もいた。こんな事は、今後やってはいけません。(笑い)工場敷地から246バイパスを歩く。鮎沢川に「**諸淵**」と呼ばれる美溪があった。透間(すきま)



谷峨駅



柚子の木



御殿場線トンネル



御殿場線



某倉庫



透間の吊橋

集落に来ると、鮎沢川対岸に家があった。たいがいこんな所は「吊橋がある」と鮎沢川を振り返り覗くと案の定、吊橋があった。

少し戻り、吊橋を渡った。ただ、この橋は2万5千に記載はない。車の騒音を逃れ、鮎沢川左岸を遡る。ここで私は一つの楽しみがあった。「**県境が何処か**」である。この先に、神奈川・静岡の県境がある。実は私は以前、この県境を歩いている。

1986年、「**静岡県連20周年記念国内山行『県境の山を歩く』**」で歩いた。静岡県境は、東の湯河原・千歳橋から西は新所原まで約400Km。そこを県連の仲間、16団体がリレーでつないだ。

私は、1985年7月28日にここを歩いた。記録は、20周年記念誌に纏められた。その時、記念誌の編纂をやった。奇しくも来年は50周年。結局、50周年記念誌も担当する事になった。ま、40周年も担当したが・・・。



県境



20周年記念誌

鮎沢川左岸を進んで行くと、「足柄ふれあい公園」に出た。まだ、新しい施設だった。あってもなくても、どうでもイイような公園だった。面積は大きいから相当、お金は掛かっている感じ。小山町はそんなに余裕があるのか?? もっと別な金の使い方があるのでは、と思った次第。

駿河小山駅に到着。駅の無人化に伴い。売店がなくなり淋しい。代わりに、「町の駅」という施設があった。中に「**気の良さそうなオバサン**」が店番。小腹が減ったので、物色すると「**ヨモギ饅頭**」があった。130円。食べたら美味しかった。オバサンがお茶を入れてくれた。体が温まった。



小山駅前  
町の駅「金太郎」



再び歩く。相変わらず小雨が降っている。東名高速を潜って行くと、足柄駅に到着。時間的に昼食の時間だった。昼食は、近くの古刹、宝鏡寺でいただいた。寺は、突然の来訪者に、嫌な顔ひとつしないで迎えてくれた。

この寺は、以前「御厨（みくりや）三十三観音札所巡礼」で訪れたことがある。この辺りでは大きく有名な寺。昼食前、一応お勤めを果たす。勿論、空でお経が出来るのは私しかない。皆さんにも並んでいただき、「開経偈から懺悔文、般若心経、光明真言、大師宝号、回向文」を済ませた。昼食は、静かな本堂で美味しくいただいた。



宝鏡寺



午後、再び歩きだす。概ね、鮎沢川に沿って南下する。鮎沢川は、アウトレット付近で、毛細血管のように細部に散らばっていく。ただ、鮎沢川の源流は、ここから西に向かい、籠坂峠南の富士高原ゴルフ場辺りだ。同時に、滝ヶ原辺りが分水嶺で、北は鮎沢川で相模湾、南は黄瀬川で駿河湾に流れる。茱萸沢集落辺りの沢は、可なり微妙で、少し北・南で流れる海が違う。

御殿場駅に寄らず、バイパスする形で南御殿場駅を目指す。少し旧246を歩き、南御殿場駅から東の旧道を下る。御殿場駅を過ぎると、「道は沼津に向かって下っているの、歩行は俄然、楽になった。」が、ここで本日やや不調のH嬢が、御殿場線で沼津に降りた。K嬢を乗せた電車は、轟音と共に下って行った。

旧道を歩いて行くと路傍の民家に「ロウバイが咲いていた」。やっぱり暖冬か。それにしても早い。これでは、春の楽しみがなくなってしまう。



小田急電車



ロウバイ

今日は、沼津で忘年会だが、まだ時間があった。富士岡駅まで頑張る。足は痛い・腰は重い・体はヨレヨレだった。K氏は、両足裏にマメが出来て難儀している。それでも何とか富士岡駅が見えた。万歳。良かった。これで電車に乗れる。言うまでもなく、その日の忘年会は、大いに盛り上がった。「サイコーの忘年会でした。」



富士岡駅



沼津「はなの舞」

2015・大忘年会



Kちゃん、ハリキル！！

カラオケ大会



赤ワインは  
サービスでした

